

令和3年4月26日

保護者のみなさまへ

岸和田市立朝陽小学校園
校長 池住美樹

新型コロナウイルス感染症に関わるお知らせ 3

メールやお手紙等でお知らせしました通り、4月23日(金)の午前、本校児童の感染が確認されました。岸和田市の学校園では、感染が確認され、学校園内に濃厚接触者がいる可能性がある場合は、その日は緊急下校、そして翌日から3日間は、疫学調査・校内消毒作業・再開準備のための期間として、臨時休業を行うことになっています。

23日の午後に保健所による疫学的調査が行われました。そこで、学校内での濃厚接触者なしという判定があり、その後、教育委員会の指示を受け、もともとあった3日間の休業期間を短縮し、本日26日からの学校再開となりました。

疫学調査では主に、学習活動の内容や感染予防対策、児童園児や教職員の健康状況、そしてマスクを外しての活動の有無やその活動時間が問われました。学校園が短期間で再開できたのは、朝陽小学校園に関わる全てのみなさまが、「新しい生活様式」を守り、体調不良のときは大事をとることで、自分を守り、家族を守り、みんなを守ってくださっていたからです。心から感謝申し上げます。

どれだけ3密を避け、手洗い・手指消毒・マスク着用を心がけていても、この新型コロナウイルスにはだれもが感染する可能性があります。「新しい生活様式」を余儀なくされている私たち、そして、心ならずも感染された方のだれもが、この感染症の被害者です。悪いのはウイルスであって、感染者ではありません。

今、学校や職場をお休みしている人の中には、いろいろな事情の人がいます。例えば新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と判定された場合、PCR検査を受けることになりますが、結果が陰性であっても2週間の自宅療養となります。それ以外にも、濃厚接触者になるかもしれないから念のためお休みしますとか、今の状況が心配だからお休みしますとか、休む理由は様々です。もちろん、コロナ関係以外の病気や、その他の用事で休まれることもあります。学校をお休みしたら、「コロナで休んでるの?」、花粉症で咳やくしゃみをしたら「コロナちゃうん?」この何気ない一言が、「コロナに感染すること=悪いこと」という雰囲気をつくってしまいます。感染した人や症状のある人を責めるのではなく、早く治るように励まし、治って戻ってきたときには温かく迎える。朝陽小学校園は、そんなところでありたいと思います。

でも、どれだけ温かい雰囲気でも、どれだけおうちの方や地域の方に守られていても、子どもたちが不安に思うこともあるでしょう。そんなときは、その気持ちを過度に押しえつけないこと、そうだね、と寄り添い、一緒に考えていきたいと思っています。不安に思う子どもには、担任だけでなく、全ての教職員が味方になり、サポートしていきます。また、スクールカウンセラーの利用もできます。不安に思う子ども、そしておうちの方がいらっしゃいましたら、学校へご連絡ください。

幼稚園の3歳児さんから6年生、そして保護者のみなさま、地域のみなさま、そしてすべての教職員が、この局面を乗り切っていけるよう、知恵を絞り、心をあわせていきましょう。以上、よろしく願いいたします。